

**『昨日から定期試験』→『週末には=到達度試験』が返却されます。**

5月9日に「第1回到達度試験」そして、6月7～8日には「第1回定期試験」が実施されました。その結果が、今週より返却されています。今回は、受験へ向けての『テスト活用法』ということでお知らせをします。全ての人におすすめするという程ではありませんが、『受験勉強って何から始めたらよいの?』などと考えている人は、多少の参考にしてみてください。

テストが終わると、皆さんはどうしますか?とりあえずホッとしますよね。そして、結果が返ってくると、点数に一喜一憂し…。結果がよければ嬉しいし、悪ければがっかりします。そして『次のテストは、もっと頑張ろう!』と決意して…。これで終わり。ではダメですね。実にもったいない。さて、今回お話ししたいことは【終わったテストの有効活用】についてです。テストというのは、その時学習した内容の重要なポイントが凝縮されて出題されるものです。学習した内容全てが出題されるわけではありません。最も大事なところが選ばれて出題されているわけです。ここで、高校入試を考えてみましょう。高校入試の試験範囲は?と問われたら、『中1の最初から、中3の最後まで学習した内容全てが試験範囲』というのが答えになります。と、いうことは、皆さんが受験勉強するときに、勉強しなければならない内容は、中学で学習した内容全てということになりますよね。しかし現実問題、中学1年から学習した内容全てを受験勉強として復習することは可能でしょうか?もちろん、それが実現できれば理想的ですけど…。そこで、受験勉強では、大事なポイントを、効率よく勉強することがコツとなってきますね。そこで、【終わったテストを活用】するのです。テストで満点とすることは、そう簡単にできることはありません。しかし、同じテスト問題を何度も何度もやり直し、繰り返し解いていけば、いずれは100点とれるようになるでしょう。人によって2回目で100点とれる人もいれば、10回目で100点とれる人もいるなど、個人差はあるでしょうが、しかし、間違ったところを見直し、わからない問題は先生や友達に聞きながら、繰り返し繰り返し同じテストにチャレンジすれば、いつかは(そう遠くないうち)100点とれるでしょう。先ほど、【テスト問題というのは、学習した内容の重要ポイントが出題されている】と言いましたよね。終わったテストを利用して(繰り返し勉強して)いけば、ポイントを押さえた効率よい受験勉強になる!と、ということなのです。勉強していなければ良い点はとれません。当然です。しかし、勉強していれば必ず良い点がとれるか?と問われたら、必ずしもそうではないでしょう。効率の悪い勉強をしていたら、結果には現れてこないケースも多いのではないのでしょうか。今は、テストが返ってきたときに、結果(点数)に一喜一憂している時期ではないと思います。間違えた問題(わからなかった問題)をやり直して、次に同じ問題が出たときには正解できる!状態にすることが大事なのです。極論を言えば、テストで0点とってでもいいんです。同じテストを繰り返しやり直して、次にはできるようにする。何回目かには100点とれるようになれば、0点とったことも取り戻せるのです。逆にテストで90点とって満足してしまえば、とれなかった10点分はいつになってもとれないということです。

その1 テスト問題用紙・解答用紙・模範解答を全てとっておく。(テストファイルに綴じる)

問題用紙、解答用紙、模範解答など全てを保管しておきます。このファイルが後々貴重な問題集となります。

その2 テストで間違った問題だけ、をもう一度チャレンジする。

テストで『X』だった問題をそのままにせず、次に同(ような)問題が出たら、次は正解できるよう復習する。テストで『O』だった問題は、理解できているのだから、とりあえずスルー。

その3 何度やってもわからない問題は、友達や先生に(個人的に)聞く。

とりあえず、もう一度チャレンジ(復習)するのですが、テストで『X』だった問題なので、自分ひとりで再チャレンジしても、理解できない可能性が高いです。そこで、友達や先生に、その問題の解き方を聞きましょう。改めて、マンツーマン(1対1)で教えてもらうと、たいていの問題は理解できるものです。

【そうすれば】・・・間違った問題が、次は解けるようになります。

【ということは】・・・理論上は、もう一度同じテストをしたら、100点とれるということになります。

【何度か繰り返し行うことができれば】

理論上だけでなく、かなりの確率で、もう一度同じテストをしたら、100点に近い点がとれるようになります。

【この方法を『5回の到達度試験』『3回の定期試験』で実践できれば。】

入試で同じ(ような)問題が出題されたら...正解できるんじゃないですか~。入試で同じような出題の可能性は?学習内容の重要ポイントを集めたものがテストに出るわけですから...。けっこうあるのではないのでしょうか。



『第1回 進路説明会』のご案内をしています。
— 現在〇〇〇名様のご参加予定をいただいております。 —



5月10日(水)に『第1回 進路説明会』の案内文書を配布させていただきました。平日開催であるので、お仕事の都合等難しいとは存じますが、できるだけ多くのご家庭で参加いただけることを願っております。特に受験生を初めてもつ保護者様については、積極的にご参加いただくことをお勧めいたします。先日配布した文書と重複しますが、概要を掲載いたします。

- 日時 令和5年 6月13日(火) 13:15~15:00 (受付=12:50~13:10)
- 会場 志津中学校：体育館
- 内容 主に令和6年度(来春)の高校入試(公立編・私立編)に関する情報
- その他
 - ・保護者様参加の有無を、6/5日(月)までにご報告いただけるようお願いしておりました。
 - ・事前(3~4日前には)に、資料を配布させていただく予定ですので、説明会にご参加される方は説明会当日ご持参ください。説明会に参加できない方については、資料をお読みいただき、質問等ございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。
 - ・当日、発熱や体調不良があった場合は参加を控えていただくようお願いいたします。
 - ・詳細については、5/10(水)発行文書をご参照ください。



『第2回 到達度試験』は6/31(火)に実施されます。



5/11(水)に『第1回到達度試験=5/31(火)実施』の出題範囲(下記)を配布しています。いよいよ進路決定に向けての「準備」がスタートしていくこととなります。ここで言う「準備」とは、単にテストに向けて勉強を始めようというだけでなく、自分の進路について「考える」⇒高校・受験について「調べる」⇒高校・受験について「理解」する⇒進路について家族や先生に「相談」する。といったような、進路決定に向けた準備をトータルに始めていこうという意味です。少しずつでも「準備」を始めていきましょう!

※すでに配布してある「出題範囲表」ですが、保護者様にお知らせする意味もあり、改めて掲載しました。

- (1) 試験日程 5月31日(火) ①国語 ②数学 ③英語 ④学活 ⑤理科 ⑥社会
- (2) 出題範囲

国語	数学	英語	社会	理科
<ul style="list-style-type: none"> ・聞きとりテスト ・漢字の読み、書き 	<ul style="list-style-type: none"> ・1,2年の学習内容 ・3年の領域 	<ul style="list-style-type: none"> ・リスニング ・長文読解 	<ul style="list-style-type: none"> 【地理分野】 ・世界と日本のすがた 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の世界 ・物資のすがた

- ・説明的文章の読解
- ・文学的文章の読解
- ・古文
- ・作文
- ・文法



- ・式の乗法・除法
- ・乗法の公式
- ・因数分解



- ・短文読解
- ・対話文読解
- ・語い
- ・英作文
- ・1,2年の復習問題
- ・現在完了(経験完了・継続)
- ・疑問詞+to~

- ・世界の諸地域
- ・身近な地域の調査
- 【歴史分野】
- ・古代国家と東アジア
- ・中世の日本と東アジア
- ・近世の日本と世界
- ・欧米の近代化と日本の開国①
- ・幕府の滅亡と明治維新

- ・身近な物理現象
(光・音・力)
- ・大地の変化
- ・生物の体のつくり
とはたらき
- ・化学変化と 厨・好
- ・気象のしくみと、
天気の変化

* 到達度試験では必ず『「三角定規1組 & コンパス」を準備してください。』